

生活科の実践

旭川市

生活科

1年

かかわることで、変わることに気付く！

がっこう だ～いすき

～トイレを進化させよう～

<http://www.fan.hi-ho.ne.jp/douseiren/>

この指導案は、上記のHPよりダウンロードすることができます

第1章

単元の概要 と 単元構成

トイレを気持ちよく安心して使える場所にしたいという子どもたちの願いからこの単元は生まれました。内容（1）（4）（8）（9）に関連し、自分が積極的にかかわると、環境を変えられることに気付いたのです。学校生活を支えてくれている人々とのかかわりや協力することの大切さが活動の柱になっています。

学習活動の流れ （8 時間）

学校生活に対するイメージを出し合う中で、改善したいことがあるという気付きが生まれました。

グループごとに工夫が見られ、お花グループでは、造花、折紙、花壇や野原からといった3つの方法でお花を用意しました。花瓶はプラコップに着色して作りました。

壁面は、絵であふれ、花が飾られ、天井からは飾りが下がり、自分たちで愛着のある場所を作り出していきました。

学校生活をかんがえよう（3）

- ・学校生活にも慣れてきた
- ・学校のトイレは、こわいな。なんだか臭いぞ
- ・気持ちよく安心して使えるといいのにな
- ・明るくしたい。楽しくしたい。きれいにしたい
- ・みんなで協力して進化させよう
- ・ひとりじゃむりだからグループでしよう
- ・誰に相談しようかな

トイレを進化させよう（4）

- ・グループに分かれて活動しよう
- ・校長先生にお願いに行こう
- ・楽しい飾りや絵でいっぱいにするぞ
- ・どんなお花を飾ろうか
- ・掃除を6年生に教えてもらおう
- ・ぴかぴかになってきたら、ちょっといいきもち

見て見て！きれいになったよ（1）

- ・気持ちよく安心して使えるようになった
- ・違うところもきれいにしようよ
- ・学校生活はもっともっと楽しくできるね！

学校生活になれてくると、楽しいことも困ったことも見えてきます。子どもたちの困りはトイレでした。でも自分たちで愛着のある場所へと改善していったのです。それがトイレの進化です。



トイレまで飾っちゃえ

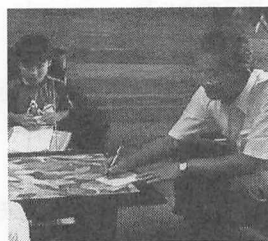
教材・活動の Point!

1. 必要感が活動のエネルギーに

子どもたちが毎日使用するところといえば、教室に次いでトイレです。学校生活も充実したある日、「トイレには花子さんがいるの？」と1人の子どもがつぶやきます。それが活動の発端となりました。教師が、子供の思いや願い、必要感を見取り、共感していくことで、この活動は生まれていきました。

2. 対象に自ら働きかけていくような構成を

絵本『がまんだ がまんだ うんちっち』（岩波書店）の読み聞かせが活動の発端になりました。主人公は学校のトイレに入れません。それに自らの体験を重ね合わせ、学校生活のうまくいっているところとそうでないところがあることに気付き、活動をはっきりさせていったのです。学校探検では、『学校チャチャチャ』という歌を作り出した子どもたち。活動は学校全体に広がっていきました。



3. 繰り返し人とかかわる活動を

学校探検で知り合った校長先生、校務補さん、6年生などの学校生活における身近な人が、この活動を支えました。グループに分かれた活動の場面では、自分から相談に行ったり、一緒に活動してもらったり、褒めてもらったりすることで、自分に自信をもつ姿が見られました。その後の学校生活にも生かされていったのです。

